大念仏乳児院

「プール遊び」

7月の始めから3階屋上庭園に大きなビニールプールを準備して、天気の良い日は毎日のようにプール遊びを楽しみました。

いてしめったら上手に使べない子もいましたが、何度かお稽すうちに水遊を見れば喜ぶようになりました。

真っ黒になりながら、思う存分プール遊びを楽しめたかな？

「七夕の行事」

7月7日は行事飾りを中心にみんなで七夕の歌を歌ったり、担当の人が一緒にお願いごと短冊に書いたりしました。

御願きんに事願いたい。頂いた担当の先生方が、短冊の上で、子どもたちが、えんまさまに、なんとかしてください。

願いが届きますように。

「すいかを囲んで…」

大きなスイカをもらいました。いつも食べるのは切り分けられたあのスイカ。子どもたちは、丸にして、連は色をまんすイカを見ていました。

床に置くと、みんなが寄ってきました。「みんなで食べるんだよ？」「なんだろう？」「頭が中が？」「赤くんだ。」「テナマークが見えてくるようです。」

これはスイカで間違いないようです。

これはスイカを食べようとしている顔をしていました。

後で、「このスイカなくなってしまったけど、分かってくれたかな？」

「スイカ割り」

5月の暖かい日、スイカ割りをしたい！と、子どもたちが、青いバットを持ってすぐ集まってきました。

子どもたちは、大きな目隠しをしてスイカを探しました。

なかなか割れませんでしたが、みんなで協力しました。

それでも大きなスイカなので、なかなか割れませんでした。

先生が出てきて、ありったけの力でスイカをエイッ！

「スイカ割り」
みんなで美味しくスイカを食べている所です。

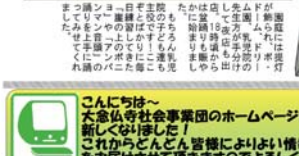
「施餓鬼法要と盆踊り」

8月30日（土）に大念仏寺社会事業団の施設の使用がされた、供養の盆踊りは大勢の地域の皆様にも参加して頂きました。

園庭には、提灯が飾られ、ボンボリ・ムード満点。

先ず、乳児院の生徒が、手拭いを出し、夜店も出ました。

夜は18時頃から始まりました。



つぼみ通信

「福祉」について　思うこと

老いぼれ小児科医　長生　合志

大念仏寺社会事業団という名称は時代と共に、歴史を感じます。

昔は、慈善事業、救貧事業、施設事業、福祉事業と、時代の流れとともに、変わりました。

「社会事業」という言葉は、「福祉」という言葉に変わりました。

戦後物質貧しい時代は、「乞食」、「浮浪者」、「ホームレス」、「孤児」、「捨て子」、「貧困」、「障害者」、「老人」、「母子」、「寡婦」、「病人」、「孤児